

報告事項サ

子ども読書アドバイザーの養成及び派遣について

子ども読書アドバイザーの養成及び派遣について、別紙のとおり報告します。

平成23年7月19日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

子ども読書アドバイザーの養成及び派遣について

家庭・地域教育課

1 趣旨

子どもの読書活動を推進するため、今年度「本の大好きな子どもを育てるプロジェクト」を実施しており、その一環として、このたび子どもの読書に関する専門的な知識や豊富な経験を持ち、読み聞かせのアドバイスや実演等が行える「子ども読書アドバイザー」を養成し、読み聞かせ団体や保護者等の要望に応じて派遣することとした。

2 子ども読書アドバイザー養成研修会

(1) 実施日 平成23年6月18日(土)、19日(日)

(2) 参加人数 44名(東部18名、中部12名、西部14名)

- ・概ね10年以上の読み聞かせボランティアの経験者
- ・過去に子どもの読書活動に係る啓発活動やイベント等に意欲的に参画した者

(3) 主な内容

- 講義
- ・鳥取県の子どもの読書状況と読書ボランティアへの期待
(鳥取県学校図書館協議会会長 福嶋久米中校長)
 - ・著作権の基礎知識 (県立図書館 小林支援協力課長)
 - ・子どもの読書活動をゆたかにするボランティアの役割
(親子読書地域文庫全国連絡会代表 広瀬恒子)

グループワーク・指導対象に応じた講演計画書の作成、助言内容の検討、発表
(指導助言 広瀬恒子)

(4) 参加者の感想

- ・今まで東・中・西部のグループの皆さんと、こうして話し合う場があまりなかったので、よい刺激を受けた。
- ・講演経験の豊富な方から、話の進め方・外せないポイントなどを教えていただきたいへん参考になった。
- ・今の子どもの実態や学校サイドの考えを聞くことができ、学校との打合せの必要性や個人情報の取り扱いなどボランティアの配慮する点がよくわかった。
- ・子どもにとっての本・読書・読み聞かせが、いかに大切であるかを再認識できた。それを保護者や大人に伝えていくことの重要性がよくわかった。



3 子ども読書アドバイザーの派遣について

(1) 対象

- ・学校等の読みきかせボランティアグループ(主に初心者)の研修会
- ・小学校、保育所・幼稚園等の保護者研修会 等

(2) 助言内容

- ・読み聞かせの実演
- ・読み聞かせの大切さに関する話
- ・子どもへ手渡す絵本・児童書の選び方・年齢別にあわせた読み聞かせの方法 等

(3) 子ども読書アドバイザー派遣例

以西保育所(琴浦町)

保育園児の保護者を対象とした研修会に派遣。保護者へ、「読み聞かせの方法」「子育てと読み聞かせ」「絵本の選び方」等についてアドバイスを行った後、実際に我が子に読み聞かせを実践してもらった。



境港総合技術高等学校(境港市)

境港総合技術高等学校の2年生16名を対象とした授業に派遣。保育所へのインターンシップの際に読み聞かせを行う生徒たちへ「読み聞かせの方法」「子どもたちに聞かせたい本」等についてアドバイスを行った。

4 子どもと本をつなぐ担い手養成講座

このほかに、「本の大好きな子どもを育てるプロジェクト」では、読み聞かせ等の初心者、経験者別に、読みきかせボランティア養成講座を開催し、より多くの方々に研修の機会を設けて、読みきかせボランティアのスキルアップを図る予定。

基礎コース			発展コース	
	日時	会場	日時	会場
東部	10月2日(日) 13:30~16:30	県立図書館 大研修室	11月13日(日) 13:30~16:30	県立図書館 大研修室
中部	8月27日(土) 13:45~16:45	倉吉未来中心 セミナールーム3	11月12日(土) 13:30~16:30	中部総合事務所 第202会議室
西部	9月4日(日) 13:30~16:30	米子市立図書館 大会議室	10月15日(土) 13:30~16:30	米子コンベンションセンター 第7会議室

講師 基礎コース(中部) 広瀬 恒子(親子読書地域文庫全国連絡会代表)
 (東・西部) 中村 順子(駿河台大学・自由が丘産能短期大学非常勤講師)
 発展コース(東・中部) 脇 明子(ノートルダム清心女子大学教授)
 (西部) 斎藤 健司(金の星社社長)